



コウモリのトンネルを抜けると、そこはアプトいちしろ駅でした

写真右ページ右上から下へ
各地から集まるもりみず隊員（写真は中川根南部小） / 胸に輝く「隊員バッジ」づくり / 開会式の様子 / 受付をしてくださったスタッフの方たち

真ん中の通りを上から下へ
いちしろキャンプ場で「赤石」の講義を受ける / お互いの背中に何の動物の絵が貼ってあるかな / いちしろ駅のそばで講師の山田教授がヘビを捕まえた！手づかみで！

左上から下へ
意気揚々と進む隊員たち / アプト列車の連結部分を食い入るように見つめる / 閉会式で隊結成を宣言しました

5月9日、大井川もりみず守り隊のリーダーたちが「長島ダム」に集結し、隊結成イベントが開催されました。

子どもたちは、多くのスタッフに見守られながら、大井川流域の探索に出発です。

いちしろキャンプ場で、水辺に住む生き物クイズや、赤石にまつわる講義を受けたあと、真っ暗なトンネルを懐中電灯を片手に進みます。途中コウモリに遭遇。初めて見るコウモリの姿に、大騒ぎです。

トンネルを抜けるとアプトいちしろ駅で、天狗に扮した駅員さんに出迎えられ、記念列車で日本一を誇る急坂に挑みます。

この坂こそがアプトがアプトたる所以。急な坂を上りながら、眼下に見える大井川、接岨湖を窓から覗き「高い怖い面白い」と、結構楽しそうです。

長島ダム駅で下車、平日にもかかわらず、大勢の観光客がアプト列車に乗りに来ていて手を振ってくれました。

最後は長島ダムの中（空洞なんです）を探検です。外は半袖でも暑いくらいの陽気だったのに、ダムの中はひんやりと肌寒く、初めて入ったダム内部を、急ぎ足で探検しました。

ふれあい館に戻り、1日の探索が終了。最後は結成の誓いを宣誓し、もりみず守り隊が晴れて成り立ちました。

以下、講師を務めてくださった「富士常葉大学 山田辰美教授」の言葉です。

「森と水と人間が仲良くしていける方法

を、ここにいるみんなが、これからずっと考え続けて欲しいと思います。お母さんのお腹の中で、みんなは拳を握っていました。何を握っていたのでしょうか？

きっとお母さんからは「やさしさ」を、お父さんからは「勇気」をもらい、初めてこの世に出たとき、元気な産声を上げられるよう、拳を握っていたのではないのでしょうか？

これから、みんなが「大井川」という生命の源を学んでいったとき、きつと何かをつかみ、拳を握ることでしょう。何かをつかむかは、それぞれ違うと思います。

『好奇心の窓』をいっぱい開いて、何かをつかんでください。次に会うときは、みんなが何をつかんだのか、僕に示してほしいと思います」

今後、隊員たちは各小学校において、それぞれが大井川について学んでいきます。7月4日には、もう一度集結して寺子屋を開催、本番の7月30日に向けて積極的に活動していきます。

